

## 第5学年 国語科学習指導案

令和5年7月6日(木)

第5学年1組 23名

### 研究主題

「主体的に学び合い、豊かに表現する児童の育成」 ～国語科指導の改善を目指して～

1 単元名 「調べたことを正確に報告しよう」

2 教材名 「みんなが過ごしやすい町へ」(光村図書5年)

3 単元の目標

◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)エ

○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 [知識及び技能] (1)カ

○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ア

○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	① 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ② 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ③ 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	① 粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、報告する文章を書こうとしている。

## 5 単元について

### (1) 教材観

本単元では、主に適切に引用しながら書くことがねらいとなるが、4年生までに身に付けてきた調査報告に関わる基本的な力を生かし、自分の目的意識に基づいて、主体的に活動に取り組むことを期待したものである。授業では、「八幡小学校をより良くするために」というテーマ設定をすることで、「相手に分かりやすい文章を書くこと」「納得できる調査報告文にすること」に必要性が生まれ、児童の書くことへの意欲につながると考えられる。

教科書では、「インタビュー」、「アンケート調査」、「実際に見て調べる」「本や資料で調べる」「インターネットで調べる」という例が示されている。これまでの学習の内容を振り返りながらそれぞれの特徴を整理し、目的を意識して自分が明らかにしたい内容に合うものを選びせるようにしたい。

### (2) 児童観

国語の学習に関するアンケートでは、国語の学習が「好き」「どちらかというが好き」と答えた児童が48%、自分の考えや思いを他の人に伝えることが「好き」「どちらかというが好き」と答えた児童は62%だった。また、書く学習が「好き」「どちらかというが好き」と答えた児童は57%だった。好きな理由として「自分で考えて作ることが好き」「パンフレットなどを作ると理解できることが多い」「色々調べられる」など、パンフレットづくりなど作品に対する好きな理由が多くあげられた。一方、嫌いな理由としては、「作文が難しい」「文章を考えるのが苦手」「どうやって書けばよいか分からない」など、作品よりも「文章を書く」ことに対して抵抗を感じている理由が多くあげられた。

友達と考えを伝え合うことが好きな児童も、「書く」学習して自分の考えを伝えることには抵抗を感じる児童がいる。説明的文章の学習では、筆者の考えを理解することはできても、それに対する自分の考えをまとめ、書くことが難しい児童が多数いた。書き始めや例を示すことで書くことはできたが、自分の考えを伝えるために、具体例を加えたり、段落を整えたりと、より良い文章にしようという意識は低いと感じた。

最近では、日常的に自主学習や短作文の機会をつくることで、「書くこと」への抵抗感が低くなるとともに、書き慣れてきたようにも感じる。様々な方法での「書くこと」への経験の積み重ねが、自信や次の活動への意欲へとつながる。

本単元では、児童の身近なテーマを取り上げ、児童が「書きたい」「作りたい」という意欲をもって活動ができるようにする。また、書き方の例を示したり、選択させたりすることで、「これならできる」という自信をもたせていく。さらには報告会を通して達成感や充実感を味わわせることで、「書くこと」への自信につなげていきたい。

### (3) 指導観

本単元では、「八幡小学校をより良くするために」というテーマをもとに、学校の良さや課題を考えたり、より良い姿を思い描いたりし、実態調査をすることで現状について報告する文章を書くという言語活動を設定している。「自分たちの学校をより良くするために何ができるか」、「自分たちの力で変えることができるかもしれない」といった思いは、書くことの必要性を高め、主体的な学びへつながっていくと考える。

また、実際に報告する機会を設けることで、内容が伝わった達成感だけでなく、書く技能が伸びた充実感も味わうことができるようにする。

実際の調査については、総合的な学習の時間を合科的に扱う。実際に見たり、聞いたりしながら調査することにより、努力して得た調査結果に責任をもつとともに、実際に生活を改善する行動につなげることができる。さらに、児童の課題意識を高めることにもつながると考える。

情報の整理や文章の組み立てには学習支援アプリの思考ツールを活用していく。ICTや思考ツールを活用した話し合いを取り入れることで、情報を共有したり、図表を分かりやすく提示したりすることができる。児童にとって課題解決的な学びとなるよう工夫したい。

## 6 研究主題にせまるための手だて

### (1) 主体的に学び向かうための手だて

- ① 児童にとって身近であり、かつ調べてわかることを題材にし、また報告する機会を事前に設定することで、目的意識をもって活動できるようにする。
- ② 総合的な学習の時間と合科的に行い、児童が十分な情報を集めたり、図表に整理したりすることができるように時間を確保する。

### (2) 対話的、協働的な学びを生むための手だて

- ① 学習支援アプリを活用し、文章の組み立てや調査結果をシンキングツールにまとめることで、話し合いを円滑に進めたり、情報を共有したりする。
- ② 文章の構成や下書きの段階でグループでの読み合いを繰り返し設定し、相手の書きぶりの良さに気付いて自分の記述に生かせるようにする。

### (3) 多面的・多角的な評価

- ① 清書だけでなく、取材・構成の段階、推敲の段階、交流での相互評価の段階での気付きも評価できるように毎時間の振り返りを行う。
- ② 学習計画表に沿って、自己評価をすることで、自分の成長を実感し、また次時への意欲へとつなげられるようにする。また、振り返りに対して即時評価することで、児童の理解度を確認するとともに、次時以降の指導に生かしていく。

## 7 育てたい学びのすがた

主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「報告したい。」「みんなに伝えたい。」という思いをもち、必要な調査をすることや報告文を書く活動に取り組む。</li> <li>・相手意識をもち、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫していく。</li> </ul>
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い報告文になるように意見を伝え合う。</li> </ul>
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の振り返りを通して、自分の成長に気付く。</li> <li>・読み手を意識しながら文章を修正したり、友達の手書きぶりの良さに気付いて自分の記述に生かしたりする。</li> </ul>

8 学習指導計画（全10時間）

	時	学習内容	評価規準
第1次	1	<p>○より良い八幡小学校にするために必要な事柄について話し合う。</p> <p>（より良い学校の観点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な学校にするには</li> <li>・楽しい学校にするには</li> <li>・学び合いのある学校にするには</li> <li>・生活しやすい環境の学校にするには</li> </ul> <p>○「みんなが過ごしやすい町へ」を読み、単元の学習課題と学習の計画を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>調べたことを正確に報告しよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告会について見通しをもつ。</li> <li>・報告する文章の書き方についてイメージをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告文の特徴について、作例を通して考えている。【知】</li> <li>・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。【思②】</li> <li>・調査報告文を書く学習について、見通しをもって取り組もうとしている【態】</li> </ul>
	2	<p>○調査目的を確認しながら、グループで調査するテーマを決める。</p> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ状況</li> <li>・忘れ物を減らす</li> <li>・図書室の利用</li> <li>・廊下の歩き方</li> <li>・保健室 けがの人数</li> <li>・時間を守る</li> <li>・遊びの種類（異学年での遊び）</li> <li>・給食の残菜</li> <li>・家庭学習の時間</li> </ul> <p>○内容・方法・計画を話し合う。</p> <p>（調査例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー</li> <li>・アンケート</li> <li>・校内実地調査</li> </ul> <p>（調査期間）2週間</p>	
	3	<p>○報告したい内容から、必要な情報確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引用や写真などの図表の必要性を確認する。</li> <li>・調査に向けて各所と調整をする。</li> </ul>	
第2次	4	<p>○報告書に必要な情報を整理し、グラフや表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書の構成を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告文の構成や展開を捉え、その特徴について理解している。【知】</li> <li>・集めた材料を分類したり、関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>【思②】</li> <li>・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。【思②】</li> <li>・文章に対する感想や意見を伝え合っている。【思②】</li> <li>・引用したり、図表やグラフなどを用いた</li> </ul>
	5 （本時）	<p>○報告する文章の構成に気を付けて組み立てメモを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料をもとに、分かったことカードを書く。</li> <li>・文章の構成を考え、友達とアドバイスをし合う。</li> </ul>	
	6	<p>○引用のしかたを確かめて、報告したいことが伝わるように工夫して下書きをする。</p>	

	7	○下書きを読み合って意見を伝え合い、よりよくなるように見直す。	りして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思③】 ・粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、調査報告文を書こうとしている。【態】
	8	○報告する文章を清書する。	・引用や図版の使い方を意識し、筋道立った文章となるように修正している。 ・引用時の表記のきまりを意識し、表現の工夫を生かして清書している。
第3次	9 ・ 1 0	○調査報告会を開こう ・よりよい八幡小学校にするために、報告文を校長先生や異学年に発表する。 ・調査報告文に対する感想を伝え合い、自分の文章の良いところを見つける。 ・単元の学習を振り返り、今後への生かし方を考える。	・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。【思②】 ・調査報告文を書くときの書き表し方の工夫を振り返り、今後の学習に生かそうとしている。【態】

9 本 時（全10時間中の5時間目）

(1) 本時の目標

資料を効果的に使って、文章の組み立てを考えることができる。

(2) 展 開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	●指導上の留意点 ☆評価
つかむ 2分	○前時の振り返りをする。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調べたことを報告するために組み立てメモを作ろう</div>	●学習計画表を確認する。
進める 10分	○報告する文章の構成を確認する。 ○調査結果をまとめた図表やグラフを効果的に用いる方法を話し合う。 ○学習支援アプリで分かったことカードを書き、伝えたい事柄を整理する。 ・一番多いのは… ・～のための…な工夫があった。	●例を示し、結果からどのようなことを伝えると良いのか、まとめ方について確認する。 ●調査から分かったことと、自分の考えを区別して付箋を書くようにする。
確かめる 15分	○グループで分かったことカードを共有し、資料を効果的に用いているか、必要な情報かどうかアドバイスをし合う。 ・グラフからは変化が分かる。 ・数値化すると分かりやすい。 ・写真を入れた方が分かりやすい。 ○アドバイスを受けて、分かったことカードの内容を修正する。	●学習支援アプリでカードを共有できるようにし、互いに使いたいカードを自由に使用できるようにする。 ☆集めた材料を分類したり、関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。
深める 15分	○分かったことカードから、伝えたい事柄を選んで組み立てメモを書く。	●分かったことの中から伝えたいことを3つ程度選んで書くように助言する。 ☆筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。
振り返る 3分	○本時の学習の振り返りをする。 ○次時の学習内容を確認する。	

(3) 板書計画

テーマ

調べたきっかけ

調査方法

分かったこと

まとめ

よりよい八幡小学校へ  
 調べたことを報告するために  
 組み立てメモをつくらう